

楽しく遊びながら豊かな心を育てる石井式オリジナル教材

漢字遊びのバリエーションをもっと広げてあげたい」「忙しくて、なかなかお子さんのために漢字カードなどを作ってあげる時間がない」あるいは「どんな漢字をカードにし、どんな絵本を読んであげたらいいのか自信がない」というような場合は、石井式漢才教育の理念に基づいて作られた各種のオリジナル教材を活用していただくのもいいでしょう。

石井式漢字教育を実践する全国の幼稚園、保育園、そして教室でも使われている主な教材には次のようなものがあります。

【漢字カード】

・『楽しく遊ぶ漢字カード』（石井勲監修）は、幼児が日常話す言葉の中から、もっとも使用頻度の高い言葉を 300 選び、カードにしたものです。体の部位や動植物の名前、家族、乗り物、食べ物、身のまわりの道具や街の施設など、さまざまな名詞に加え、「大きい」「熱い」「食べる」「行く」といった基本的な形容詞や動詞も収録されていて、漢字の習得はもちろん、送りがなでひらがなの読みも自然と身につきます。

かるた取りや、動物、乗り物など、同類のカードを選んでいく仲間集め、「長い 短い」など対になる言葉を探す反対語ゲームなど、アイデア次第でさまざまな遊び方もできます（「漢字カードの使い方、遊び方」と適宜必要な漢字が書き込める無地カード」二四枚付き）。

【漢字の絵本】

・『石井方式青い鳥文庫』は年少向けの「赤い実シリーズ」、年中向けの「白い実シリーズ」、年長向けの「青い実シリーズ」と、それぞれ全 10 巻ずつのシリーズになっていて、漢字かな交じり文と美しい挿絵からなる幼児向けの絵本です。

イソップ童話や日本の昔話、空想や冒険の物語など、子どもの興味や好奇心を掻



便利な教材セットを利用する方法も

き立てる、楽しくバラエティー豊かな題材を取り上げています。

漢字かな交じりとはいっても、そのいわば入門編である年少向けのシリーズでは、文字量は見

開きに一行から数行程度、子どもたちが負担を感じることなく、本を読む楽しさを知り、また、巻が進むにつれ、少しずつ無理なく高度な内容が読みこなせるよう配慮されています。

【漢字かるた】

私たち日本人が古くから受け継いできた俳句、諺、童謡、『百人一

首』といったものは、美しい言葉や楽しいリズムに満ちています。漢字かるたは、遊びの中で、そうした日本の伝統・文化に自然と親しみながら、お子さんの豊かな感性を育ててくれます。かるた取りは子どもたちの大好きな遊びですので、お母さんだけでなく、お父さんや兄弟も交えて、家族全員で楽しむのもよいでしょう。

・『諺漢字かるた』……江戸庶民の生活から生まれ、生きた智恵として語り継がれてきたのが諺です。その中から「石の上にも三年」「猿も木から落ちる」など、子どもたちにも親しみやすい五十句を集めてあります。

・『俳句漢字かるた』……主として三大俳人といわれる小林一茶、松尾芭蕉、与謝蕪村の句の中から、特に幼児が興味をもちそうなもの、誰もが知っている有名なもの五十句を選んであります。

・『小倉百人一首』……藤原定家が撰した歌仙秀歌集『小倉百人一首』は、誰もが一度は触れる日本のすぐれた古典の一つです。恋歌が多いこともあって、流麗な言葉の響きを楽しむことができます。漢字学習の効果を高めるため、読み札、取り札ともに漢字かな交じり表記になっているオリジナル版です。

その他、漢字絵本の延長線上に位置する教材として、美しい言葉を味わいながら、子どもの語感を磨く古典や名作を集めた『国語読本』『朗誦撰』『日本朗誦文学撰』『論語撰集』『唐詩・五言絶句』なども用意されています。

楽しみながら国語力が育つ「石井式能力開発教室」

現在、石井式漢字教育は全国約700の幼稚園、保育園で実践されている他、「石井式能力開発教室」では「本好きの子を育てる」をモットーにして、一歳六ヵ月から小学一年生までのお子さんを対象に、漢字絵本をはじめとするオリジナル教材を使い、週1回の授業を通して、楽しみながら国語力の基礎を育成しています。

また、「石井式能力開発教室」では教室に通うのが難しいご家庭のための通信指導のコース(〇～九歳対象)を開設しており、従来の教材に加えてビデオや担当講師による電話指導などを取り入れることで、はじめて石井式漢字教育を体験されるお母さんとお子さんでも、楽しく漢字学習を進められるようになってきました。「お子さんに、ぜひ本格的な漢字教育を」とお考えのお母さんは、こうした教室を利用させていただくのもいいでしょう。

《教材、教室に関する問い合わせ先》

石井式国語教育研究会

〒150 0022 東京都渋谷区恵比寿南2 18 6 103

TEL 03 3760 3420 FAX 03 3760 3422